

第一種圧力容器明細書

種	類					
型	式					
① 最高使用圧力				MPa		
				MPa		
最高・最低使用温度	最高		°C	最低	°C	
第一種圧力容器の構造	内容積					m <sup>3</sup>
	胴	材 料		最 大 内 径		mm
		長 さ		板 の 厚 さ		mm
	鏡板又は管板	材 料	形 式	すみの丸みの内半径	板 の 厚 さ	mm
				mm	mm	
	ふ た 板	材 料	形 式	板 の 厚 さ	フランジ部の厚さ	mm
				mm	mm	
	ス テ ー	種 類	材 料	径	胴、鏡板等との取付方法	
				mm		
	ふた板締付けボルト	材 料		呼 び 径	数	
				mm		
	胴の長手継手の種類及び効率					
	マンホール、掃除穴、検査穴等の大きさ及び数	種 類		大 き さ	数	
				mm × mm		
				mm		
管	材 料		外 径	厚 さ	mm	
			mm	mm		
② 安全弁その他安全装置	種 類	形 式	呼 び 径	個 数		
			mm			
			mm			
製造者氏名及び製造年月	令和 年 月					
工 作 責 任 者 氏 名						
※構造検査又は使用検査の別(いずれかを○で囲む)	構造検査 ・ 使用検査					
※水圧試験圧力	MPa					
※検査場所及び検査年月日	令和 年 月 日					
※刻 印 番 号						
※検査者の所属及び氏名						
※摘 要						

備考

- ①及び②の欄は、間接加熱式第一種圧力容器にあっては、上欄は被加熱物側について、下欄は熱源側について、それぞれ記入すること。
- ②の欄の「種類」の項には、ばね安全弁、逃がし弁等の別を、同欄の「形式」の項には、揚程式、全量式等の別を記入すること。
- ※印を付してある欄は、申請者において記入しないこと。
- 第一種圧力容器の構造を示す図面を添付すること。